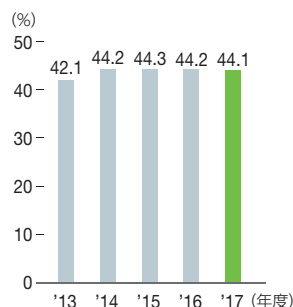


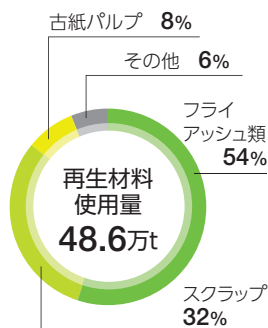
環境負荷を低減する資源の有効活用

地球環境に配慮した再生材料を優先的に使用し
限られた資源の有効活用に取り組んでいます。

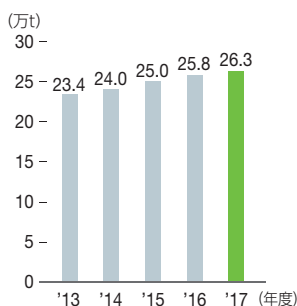
グリーン調達比率
(再生材料比率)の推移



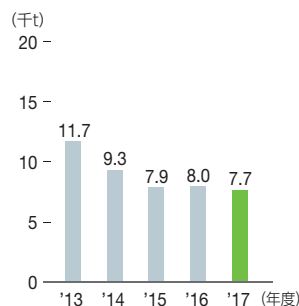
グリーン調達材料の内訳
(2017年度)



フライアッシュ類
使用量の推移



端材回収量の推移



グリーン調達の推進

ケイミーでは、環境負荷を低減するために再生材料を積極的に活用するグリーン調達比率を高めることを推進しています。

2017年度の再生材料使用量は48.6万トンとなり前年度より約4.1%増加しました。これは生産量が前年度よりも増加したことや再生材料の配合率を引き上げるための技術開発が進んだことによってフライアッシュ*1類の使用量が26.3万トンと前年度より約1.9%増加、スクラップ*2は前年度比約8.2%増加、古紙パルプも約5.4%増加したことによるものです。また、再生材料を使用している割合を示すグリーン調達比率は44.1%で2013年度以降40%を超えるレベルで推移しています。

これからも再生材料を効率的に活用し、環境に負荷を与えないグリーン調達の比率向上に取り組んでまいります。

*1 フライアッシュ
火力発電所などで石炭を燃焼させて発生した灰を電気集塵装置で回収したもの

*2 スクラップ
新築現場で発生した端材や製造工程で製品とならなかったものなどを再生材料としたもの

端材回収リサイクルシステム

グリーン調達の一環として住宅新築時に発生する建材の端材を回収し、製造事業所で再原料化するリサイクルシステムを確立しています。

2017年度の回収量は7,700トンで持家の新設住宅着工戸数が前年比約2.7%減となったことや、端材の発生比率が高い商品の販売が減少した影響もあり、前年比約4%減となりました。

一方、端材回収契約社数は6年連続で増加傾向にあり前年比約8%の増加となりました。

これまで端材は産業廃棄物として埋め立て処分されていましたが、工場での再生原料化、資源の適切な循環使用により持続可能な社会の形成と地球環境の保護に貢献しています。今後もケイミーでは、端材回収に取り組んでまいります。

